

# 大風 便り 第178号

ブログ発信中 <http://oodakomuseum.shiga-saku.net/>

編集・発行 世界風博物館東近江大風会館 令和3年3月25日発行

〒527-0025 滋賀県東近江市八日市東本町 3-5

TEL : 0748-23-0081 FAX : 0748-23-1860

IP : 050-5801-1140

開館時間：9時～17時 休館日：水曜日、第4火曜日、祝日の翌日

平成18年度から指定管理者制度により（公財）東近江市地域振興事業団が管理しています。

毎月第3日曜日は「家族ふれあいサンデー」 東近江市民の方は、「ふれあいカード」をお持ちの上、家族でお越し下さい

迫力ある四神の大風が新型コロナウイルスを追い払ってくれますように

## 大空高くみんなの願いを！2020

### ＝巡回展 四神大風の展示＝

### 4月11日（日）まで開催中

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

期間中の休館日：水曜日 入館料：一般 300円 小・中学生 150円



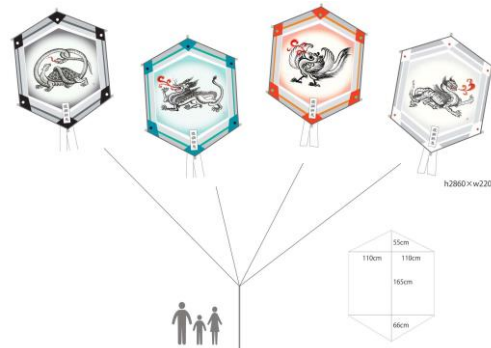
鳥居



全国一斉風揚げイベント「大空高くみんなの願いを！2020」が、「新型コロナウイルス終息」の願いを込めて、2020年10月17日・10月18日・11月3日の3日間にわたって、平城宮跡歴史公園を中心に、北は北海道から南は沖縄県まで全国19箇所の会場で風揚げが行われました。

メイン会場となった平城宮跡歴史公園で大空に舞い揚げた、キトラ古墳の壁画である東は青龍（せいりゅう）、西は白虎（びゃっこ）、南は朱雀（すざく・すじゃく）、北は玄武（げんぶ）の四神が描かれた大風4基を4月11日（日）まで展示しています。

展示した4基の大風製作は、全国一斉風揚げイベント「大空高くみんなの願いを！2020」をプロデュースした「アートプロジェクト気流部」の代表である森野晋次さんを中心に行われ、絵柄はキトラ古墳の壁画である四神を基に染織デザイナーで日本の風の会員の小野喜象さんが描きました。四神から火炎を吹いているのは、新型コロナを収束させようとして描かれています。幅2.5m高さ3mある4基の大風は新潟県新潟市白根の六角の大風と同じで、骨組から飛揚に伴う糸の調整を行ったのは、日本の風の会の岡島毅さんです。風に仕立てた岡島さんは、一本の糸で4基の大風を扇状に揚げる計画をされました。試し揚げで1基ごとに真っ直ぐにあがるように糸の調整を行い、そのあとに青龍と朱雀は右に、白虎と玄武は左に移動するように調整が行われました。そして当日見事に扇形に揚がりました。館内では4基が扇形に揚がっている写真と動画を放送しています。ぜひ、ご覧ください。



## ＝「鯉の凧展」＝

開催期間 4月15日(木)から5月5日(水)まで  
 期間中の休館日 4/21、4/27、4/28、4/30  
 開館時間 9:00～17:00(最終入館16:30)  
 入館料 一般 300円 小中学生 150円



日に日に暖かくなり、春の陽気が感じられるようになりましたね！ほかほかした日には、お弁当を持ってドライブや散歩なんていいですね。おでかけの時はちょっと足をのばして、大凧会館へもお越しください！東近江大凧会館では、4月15日(木)から5月5日(水)まで端午の節句にちなみ、鯉が描かれた凧を展示する「鯉の凧展」を開催します。巨大な鯉を力持ちの金太郎が捕まえたという逸話や、鬼若丸が巨大な鯉を退治した絵柄の凧が館内に並びます。赤い顔の金太郎の絵には、元気で強い子に育ててほしいという願いが込められており、赤には疫病退散や魔除けの意味があるので、凧をご覧いただき、子どもの健やかな成長や、コロナウイルス終息をみんなで願いましょう！

期間中には、小学生以下のお子様対象に、無料で鯉のミニ凧作りを体験してもらえるコーナーもあります。ミニ凧は歩いて揚げられる凧なので、小さなお子様も簡単に凧を揚げることができます。皆様のご来館お待ちしております。

## ＝ユニバーサルマナー検定3級＝

『ユニバーサルマナー検定』とは、『自分とは違う誰かの視点に立ち、行動する人を育てる』検定です。

みなさん、街で高齢者やベビーカーをお持ちの方、障がいをお持ちの方に会った時、迷わず手を差しのべていますか？私を含め多くの方が、困っている方に、声をかける勇気がでなかったり、声をかけたいけれど、サポートの仕方が分からない、と一歩踏み出せずにいると思います。

全人口の28%が高齢者、8%が障がいをお持ちの方、2%が3歳未満(ベビーカー)で、約4割の方が不自由を感じて生活されています。普段よく聞く『バリアフリー』は障がい者や高齢者のバリアを取り除く設備ですが、近年求められているのは『ユニバーサルデザイン』で、国籍・性別・年齢・障がいの有無に関わらず、全ての人が使いやすいモノやサービスのことです。例えば、車イスは90cm以上の幅がない道路は通れません。また、車イスの方の目線は110cmなので、コロナ禍で出入口に設置されている消毒液も手が届かない、足で踏むタイプの物も使えないそうです。普段なにげなく使っている物も、不自由を感じている方への配慮が必要だと感じました。

障がい者の方には、「あの人大丈夫かな？」という周囲の不安そうな空気が負担になっていることもあるそうです。そういった場合は、『できる？できない？大丈夫？』という声かけではなく、『何かお手伝いできることはありますか？(May I help you?)』と、まずはお声がけする事からはじめてみましょう。

## 大凧会館開館30周年記念

### ＝「大紙鳶(いか)展」の開催について＝



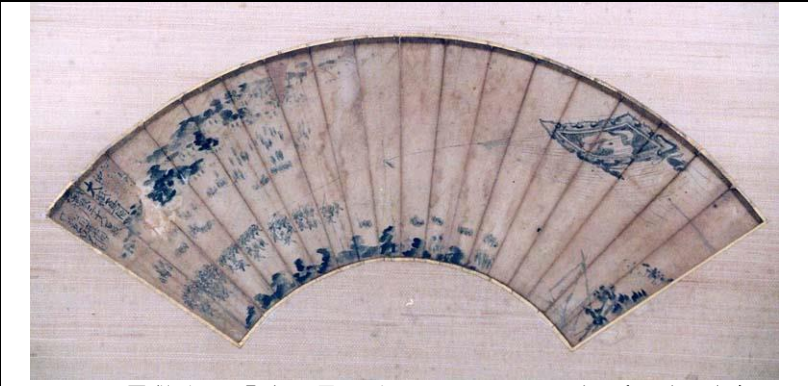
平成3年(1991年)5月に開館しました東近江大凧会館は、多くの方に東近江大凧の歴史やその大きさを体感していただき、お陰様をもちまして今年で30周年を迎えました。30周年記念として、4月29日(木)から5月30日(日)まで「大紙鳶展」を開催します。江戸時代の大凧飛揚の様子の子の絵をはじめ東近江市内残っている絵や版画、写真などその時代を知るうえで貴重な資料を展示します。歴史ファンには見逃せない資料ばかりです。

ぜひ大凧会館にお立ち寄りください。  
 期間中、学芸員により東近江大凧の説明会も開催します。  
 詳しくは東近江大凧までお問い合わせください。

展示する資料



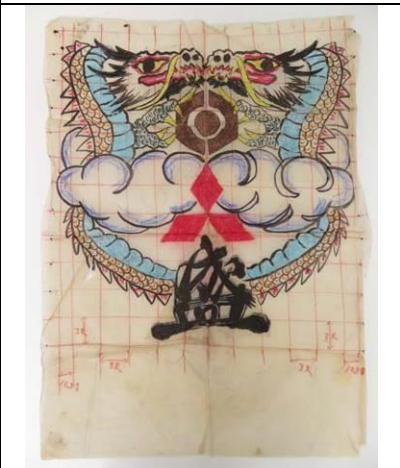
100畳敷大凧「三国志」 1848年(嘉永元年)



160畳敷大凧「時の運に叶ふ」 1874年(明治7年)



240畳敷大凧「四海兄弟」 1882年(明治15年)



80畳敷大凧「市隆盛」  
1964年(昭和39年)



80畳敷大凧「万国博賀正」  
1969年(昭和44年)

## ＝2021年4月の予定＝

巡回展 四神大凧の展示 11日(日)まで  
 15日(木) 鯉の凧展 5月5日(水・休)まで  
 18日(日) 家族ふれあいサンデー  
 29日(木) 「大紙鳶(いか)展」 5月30日(日)まで  
 4月の休館日: 4/7・4/14・4/21・4/27・4/28・4/30